



木本 新一 議員

## 財政運営と 海外観光戦略について

### 財政運営について

【問】新風会平成25年度予算の重点要望事項五項目について。

【答】特に産業経済政策では、外部有識者組織の設置を予定している。

【問】国の予算関係は総選挙で越年となるが予算編成での対応は。

【答】総務省の仮試算を参考に堅実な数値を計上し、決定次第見直して予算編成を進める。

【問】県の財政改革アクションプランが終了する中で補助金の復活と今後の影響は。

【答】県では福祉医療関係を優先的に復活する。従来の補助復活は困難だが要望していく。【問】経常収支比率が他市と比べると差がある。

### 内容分析はどうか。

【答】公債費を改善した結果と、人件費が低いことなどである。

【問】起債負担比率が16・2%で少し悪いが将来の見通しはどうか。

【答】地方債残高の減少に伴い改善されていく見通しである。

【問】平成25年度予算での景気対策について市の方向性は。

【答】景気対策については最大限配慮し、予算要求は公共投資で70億円程度である。

### 海外戦略ビジョンについて

【問】海外からの観光客状況と傾向は。

【答】今年の推計で東南アジアが60%で増加傾向、欧米が20%、中



国は全体の2%である。

【問】昆明市との友好都市提携が予定されているが今後の考えは。

【答】昆明市の都合で手続きが停滞状態だが、提携する予定だ。

【問】誘客活動を実際に観光客の多い国にシフトできないか。

【答】国に合致した有効な誘致活動を東南アジアや欧米に展開する。【問】国際交流員の実績は中国のみだが、今後英語圏の国から迎えることができないか。

【答】現在のところ考えていない。

【問】受け入れ態勢について景観の強化を図るべきでないか。

【答】地域資源を含め重要な要素であり推進する。



水門 義昭 議員

## 心に残る教育 高山市の道徳教育について

心に残る教育の創造として高山市は道徳教育にどの様に取り組んでいるのか

【問】県の道徳教育徹底指導事業とは、またこれからの道徳への取り組みは。

【答】新学習指導要領が定める道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を充実させることはもちろん、保護者、多くの地域の方々と協働して子ども達の道徳性を養うことをめざして取り組んでる。



荘川中学校の道徳教育授業

### 心に残る教育には、

地域、保護者、小・中学校が願う姿を共有することが必要。地域や保護者、学校がそれぞれ主体となって取り組みについて議論し、実践が進められる様に参画、指導、助言していきたい。

まちづくりの観点から古い町並みの景観についてどの様に取り組むのか

【問】6月の日本再発見塾の後、庁内にプロジェクトチームを立ち上げたが現状は。

【答】先ず、町並みの景観から取りかかっているが、何をどの様に議論しているのか「会議の見える化」をしたい。目途として今

年度中に報告出来るようにしたいが、新たな条例が必要であれば時間を頂きたい。

### 旧久美愛病院跡地の利活用について

【問】利活用計画の情報

【答】民間の事業者から問い合わせがあったと伺っている。

【問】跡地の地域を市としてはどの様な用途として考えているのか。

【答】非常に条件が良い土地であると認識している。地域の活性化が図られるとともに、住民の快適で利便性が高い生活に繋がる土地利用が望ましいと考えている。

【問】所有者への高山市の関わり方は。

【答】市の土地ではないので言える立場ではないが地元町内会からも要望を受けているところであり、その旨お伝えしているところである。